



KATA KUHI AERU NAKAMA GA IREBA...  
SHIWOTU KOTO NO IERU MAKAMA GA IREBA...

# 学指通信

## 「テスト返し」こそ 授業デザインと緊張感を

### テスト返し留意点 3つ

- ① 騒然とした場にしない(方向感覚を大切に(下記②③の場にするため+不正防止))
- ② テスト問題の解説をする場にする(授業の振り返り→次の授業へつなぐ場にする)
- ③ 優越感、劣等感をあおる場にしない(生活共同体機能を弱める場にしない)

### 1. テスト返し方法例(あくまで例です)

- ① 教師・生徒: 「赤ペン以外は机の中にしまう」の指示
- ② 教師: 教師作成の解答を配布(問題用紙も数部用意しておく)
- ③ 教師: テスト問題の出題意図と解説(10分~40分)
- ④ 教師・生徒: 答案用紙を返却(方向感覚が失われる場にしない)
- ⑤ 教師: 「採点間違いの申し出はこの時間内」
- ⑥ 生徒: 採点の点検等(5分~10分. 時間管理)
- ⑦ 教師・生徒: 採点間違いの申し出と修正(方向感覚が失われる場にしない)
- ⑧ 早く終われば…授業 or チャイムが鳴るまで待機

### 2. 目標準拠評価の原理から言えば…(あくまで本来は…という話)

- ① 平均点という概念はありません。
- ② 平常点という概念もありません。
- ③ 観点とB基準・A基準がなければ評価材料にはなりません。



### 3. 優越感、劣等感を煽る場にしない

頑張っても点数がとれない者の気持ちも考えてほしい (北陵中 班ノートより)

昨日、Aの書いたあった班ノートを読んで、すごく自分を見直さなアカンなあと思った。  
…略…

それと、この前の進路学活で、オレの頭の中で一番ズーとあるのが「人間は自分のことしか考えないのだから…」という言葉です。

2学期の期末テスト、自分では夜遅くまで勉強してテストをむかえた。そして、テストが返ってくるにつれて、いろんな所で点数の見せあいが目立った。「私、勉強してないから…」「オマエに勝った」とかいろいろ言いあつまる所を見たら、殴ったろかという気持ちになる。オレはオレなりに、しっかり勉強して、自分では頑張ったと思える。けど、点数は良くない。けど「なんで、点数悪いんやろー」と何回も考える。そして一人の時に、横で「オレ…やから」とか言っているのを聞いたら、学活に出たきた高雄のような気持ちになる時が何回もある。そして、「友達を大切に」「学級目標に近づこう」などは、たんに口で言っているだけの様なものと思ってしまう。

だから、頑張っても点数の取れない者の気持ちも考えてほしい。そして、点数の取れない子なりに努力してみんなから、「努力した」と思える気持ちをなくしていくようなことを言っただけほしくない。それでは、努力している人を学活で出てきた高雄を見るこのようにしか見えないとしか思えない。

だから、このいい時期に進路の勉強をしたのだから、この期末では、けなす言葉はやめられるようなクラスにしたいと思います。